

道産の食人気 サハリンで物産展

【ユジノサハリンスク則定隆史】ロシア極東に北海道の特産品を売り込む物産展が28日、サハリン州・ユジノサハリンスク市で4日間の日程で開幕した。野菜や果物、米、ラーメンなど約70品目が並び、初日から多くの客でにぎわった。

ユジノ市内の大型商業施設「シティーモール」に会場が設けられ、土別産のカボチャ約30キは40分ほどで完売する人気ぶり。リンゴやメロン、焼き肉のたれなども売れていた。昨年が続いて訪れたセーニャ・サモ

エラワさん(33)は「普段は中国産の果物を買うが、品質のいい日本の食品が大好き。値段は少し高いけど気にならない」と話した。

物産展は北海道とサハリンの交流促進と、道産食品の販路拡大を狙い。サハリンでは毎年、旭川や稚内など9市による「道北物産展」と道主催の「北海道フェア」が別々に開かれてきたが、今年は初の合同開催とし、品数も増やした。

北海道の特産品を自当てる多くの客が訪れた物産展(則定隆史撮影)

